

## 射精編

ママ A「どうしたの…？そんなにモジモジしちゃって…？なぁに…？おちんちんのことを…気になるの？」

ママ B「そうなの？…でもなんで…今まで黙ってたの…？う～～んとお…ママ、ボクがそんなこと気になってるなんて、全然知らなかったわよ…？

ボクがママに内緒にしていることがあるなんて、ママ、ちょっとショックだな…。ボクとママとの間に…隠し事はダメっ！それは約束だったよね？」

ママ A「わかったなら、その半ズボンを下ろして、ママにちゃんとおちんちん見せて。  
ほらほら…いい子なんだから観念するの。ママの言うこと事聞かないと、ボクのこと、嫌いになっちゃうゾ」

ママ B「うふふっ…泣きそうな顔しちゃって。冗談よ。ママはボクのことずう～～っと大好きなんだから…。ママにおちんちんちゃんと見せてね。お・ね・が・いっ」

ママ A「ほらぁ、ママが、ボクのチャックをおろしてあげちゃうね…！  
うふっ…いい子だからおとなしくしてるんだぞっ…  
んもうっ、恥しがらないでっ…」

ママ B「もう…そんなモジモジしないでいいんだからぁ…かわいい白いブリーフの中のおちんちん、しっかりママに見せなさいってばぁっ…」

ママ A「はぁ～～いっ…おちんちん出てきましたぁ…やっぱりママとの隠し事はダメだもんね。ボクのおちんちんも…しっかりママが見てあげる」

ママ B「このおちんちんが…おっきくなったり、ムズムズしちゃったりして、ボクは困ったさんになっちゃってるんだね。うふふっ、ちゃんと言えるじゃない。えらいえらい♪」

ママ A「ほらほら、ママがおちんちん、ナデナデしてあげるんだからぁ～。  
んん～～っ…ボクったら、恥しがっちゃって…可愛いボクっ…」

ママ B「ボクは…ママにおちんちんを触られてはずかしいのかなぁ～？  
うふふっ…ママは…ボクのおちんちん触るの、すごく嬉しいんだよっ…う～～んっ、ホントにかわいいねっ」

ママ A「あ～～んっ…ママの手の中でボクのおちんちんがぁ…ちょっとずつおっきくなっちゃってるよぉ～でもぉ…心配しなくていいの…」

ママ B「おっきくなってるおちんちん…ママによく見せてねえ…  
うふっ…ボクのおちんちん…本当におっきくなっちゃって…かわいいボクっ」

ママ A「うふふっ…おちんちんを触るだけでなく…こういうふうに…ボクの耳元を、ママが舐めてあげたりするの…ほらぁ…れろお～～っ…んん～～っ…れろれろお～～っ…」

ママ B「それにい…ふう～～ってしてあげると…ボクのおちんちん、おっきくなっちゃったりしてね♪はぁっ…んふう～～っ」

ママ A「わぁっ、おちんちん、もっともっとおっきくなっちゃったぁ…んふ～～っ…れろおっ…んん～～っ…ママうれしくなっちゃう…んん～～っ…ちゅっ…んちゅっ…」

ママ B「れろおっ～～～っ…んちゅっ…あれれ…？ボク、顔が真っ赤になっちゃってますよぉ…んちゅっ…あれえ…ママにレロレロされて、ドキドキしちゃったのかなぁ？…はぁんっ…れろおっ～～～っ…」

ママ A「もうっ…おちんちんの先っぽ…ちょっと濡れちゃってるぅ…んちゅ～っ…これは…おちんちん、気持ちいいってことなんだよ…うふふっ…ちゅっ…れろおっ…んはぁっ～～～っ…」

ママ B「それならぁ…もっと強めにおちんちん、触っちゃおうかな…？ほらっ…くちゅっ…くちゅくちゅっ…エロ口お〜〜んっ…んじゅるっ…おちんちんシコシコだよっ…んちゅっ…はぁっ…」

ママ A「はぁっ…はぁんっ……おちんちん、ホントにかた〜くなっちゃってるぅ…はぁんっ…んちゅっ〜〜っ…れろおっ…ママのヨダレも…んん〜っ…つけちゃおうねっ…くちゅくちゅっ…えろお〜〜んっ…んん〜っ…れろおっ…」

ママ B「ほらっ…おちんちんのお汁と…ママのヨダレがグチョグチョになっちゃってるのお…うふふっ…ママのヨダレとボクのおちんちん汁がグチョグチョに交わってるぅ…ふう〜〜っ…これが…どうしたことだか…わかるかな…？…んちゅっ…れろお〜〜っ…」

ママ A「うふふっ…おちんちん汁とおんなじで…ママにも…オマンコ汁が…でちゃうんだよっ…うふふっ…れろおっ〜〜っ…んんっ…ほら見てえ…ママの指にベトお〜〜って…ママの…お・ま・ん・こ・じ・るっ…んちゅっ…れろおっ…」

ママ B「はぁんっ…ママの…オマンコ汁と…ボクのおちんちん汁…混ぜ混ぜしちゃうの…んん〜っ…はぁっ…んちゅっ…ほらぁ…ママのおまんこ…ボクのおちんちんが…一つになっちゃうの…れろおっ…んはぁ〜〜っ…」

ママ A「ん〜〜っ…ちゅっ…でも…おちんちんと…オマンコが…ほんとに一緒になるのはぁ…まだまだお預けですよ…うふっ、もうちょっと…ボクがおっきくなってから…れろおっ…んはぁっ…」

ママ B「えっと…いつか…ママと、ボクでえ…セックス…んちゅっ…ママと…セックスしようねっ…んはぁっ…」

ママ A「れろお〜〜んっ……ちゅっ…んんっ〜〜っ…こんどは…おちんちんを…ママと一緒にこすってえ…ほらっ…ママと一緒にシコシコって…はぁっ…んふうっ〜っ…」

ママ B「はぁっ…ねぇ…ボクのお手手を…ママが動かしてあげるから…んん〜っ…一緒におちんちんいじる練習…んん〜っはぁっ…んんっ…これで…おちんちんが疼いてもお…大丈夫だからぁ…んはぁ〜〜っ…」

ママ A「んちゅっ…れろおっ…ほらぁ…ママがボクのおちんちんチュッチュしてあげてるから…んちゅっ…はぁっ…んん〜っ…がんばれがんばれっ…んん〜っ…はぁっ…ちゅっ…んはぁ〜っ…」

ママ B「ほらほらっ…おちんちん、シコシコだよっ…んんっ…シコシコって…おちんちん動かすのお…んちゅっ…はぁっ…はぁっ…がんばってえ…がんばってえ…んちゅっ…じゅるるっ…」

ママ A「はぁんっ…どんどん慣れてきたみたいだね…んはぁっ…頑張るボク、ママ大好きっ…んん〜っ…ママとお…はぁっ…おちんちんシコシコ、気持ちいいよねっ…んんっ…」

ママ B「はぁっ…ママの手、ボクのお手手を触ってるだけだよ…んん〜っ…はぁっ…今はボクが一人でえ…動かしてるんだよっ…うふふっ♪…んちゅっ〜〜っ…えらいえらいっ…んちゅっ〜っ…」

ママ A「あ〜〜んっ…すごおい…ボクったらぁ…一人でできるようになっちゃったのおちゅっ…ちゅっ…ちゅう〜〜っ…これはぁ…ママからのお…ご褒美のチュウだよっ…んん〜っ…ちゅっ…」

ママ B「れろお〜〜っ…んん〜っ…でも…ママは…ずっとボクのお手手さわってたいの…んちゅっ…れろおっ…いいでしょ…今日だけはぁ…ママと一緒におちんちん、シコシコなのぉ…んんっ〜〜っ…ちゅっ…じゅるるっ…」

ママ A「ん〜〜…はぁっ…こうやって…ボクの耳元を責められながらぁ…オナニーするのって…とっても気持ちいいでしょお…？んちゅっ…ほらぁ…ママが耳の中まで舐めちゃうの…ちゅっ…レロレロお〜〜っ…」

ママ B「ちゅっ…れろおっ…こうやって…自分のお手手で…おちんちんシコシコするのはぁ…オナニー、っていうの…ふふふっ…でもやりすぎちゃダメだよおっ…ちゅっ…れろおっ…」

ママ A「んん〜っ…んん〜っ…はぁっ…ボクがおちんちん触って…気持ちがいいのと同じで…ママも…オマンコ触ると気持ちがいいの…んん〜っ…はぁんっ…ママも一緒にオマンコ触るねぇ…はぁんっ…はぁっ…」

ママ B「はあんっ…ちゅっ…ちゅっ…ボクのおちんちんシコシコ…ママのオマンコ…グチュグチュっ…んん～っ…ボクとお…一緒に気持ちよくなっていると…ママ幸せだよっ…はあんっ…ちゅっ…んん～っ…」

ママ A「うふふっ…んはあっ…ほらあ…おちんちんシコシコ…おちんちんシコシコ…それに…ママのオマンコズリズリい～～っ…んちゅっ…はあっ…んん～～っ…ママとっても気持ちいいんだよお…」

ママ B「はあんっ…んんっ…どうしたの…？  
はあんっ…こんな顔してるママ、はじめてだから、びっくりしちゃった…？  
んん～っ…ママも…気持ちいいときはあ…こういう顔しちゃうの…  
はあん…んはあっ…ちゅっ…んんっ…れろっ…れろれろおっ…」

ママ A「んはあっ…んはあ～～っ…んちゅっ…じゅるるっ…はあっ…れろっ…ちゅっ、ちゅっ、んちゅう～～んっ…ママもホントは…エッチなこと…好きなの…んはあっ…んちゅっ…れろおっ…ボクとおんなじで…ムズムズして…たまらない気持ちになるのお…はあんっ…」

ママ B「んん～～っ…ちゅっ…だから…ボクも…恥しがらないで…  
おちんちん…もっと激しくいじってもお…い、いいんだからねえ…  
んんっ…ママも…オマンコいっぱい、いじっちゃうからあ…んんっ…」

ママ A「んはあっ…おちんちん…んん～～っ…んはあっ…レロレロレロオ～～っ…  
じゅるるっ…ほらあ…ママ上手でしょ…こうやって…オマンコ触りながら…  
ボクにも…いっぱい気持ちいいこと…んんっ…しちゃうんだよっ…れ…れろれろおっ…んん～～っ…んじゅるうっ…」

ママ B「はあんっ…ちゅっ…れろおっ……んんっ…ちゅっ…あああっ…んんっ…  
ママってば……ボクのおちんちんオナニー見て…はあっ…とってもエッチになっちゃったのお…あはんっ…んちゅっ…んんっ…ああんっ…可愛いおちんちん、食べちゃいたいよお…んん～～っ…はあっ…れろれろおっ…」

ママ A「はあっ…れろお～～っ……おちんちん…すごい勃起しちゃってえ…どこまで固くなっちゃうのかしらあ…んん～～っ…んじゅる…んふっ～～っ…ぶはあっ…チュッ……んん～～っ…はあんっ…れろおっ…ちゅっ…あ～んっ…エッチなママも…いっぱい見てねっ…」

ママ B「んん～っ…はあんっ…れろれろおっ…はあんっ…大好き大好き大好きっ…んん～～っ…チュッ…ちゅっ…はあ～んっ…れろお～～んっ…  
ママ、オマンコの手…とまらないんだよっ…はあんっ…んん～～っ…ボクのこと…ずっとママのものにしたいのお…んんっ…はあんっ…ちゅっ…はあんっ…ボクのおちんちんっ…んん～っ…」

ママ A「れろれろおっ…んん～～っ…とっても可愛いボク…ちゅっ…ちゅっ…  
エッチなママと…はあっ…オナニーしてくれて…はあんっ…ありがと…んんっ…ちゅっ…れろおっ…ママはあ…大好きなボクとお…オナニーできてえ…幸せなお…んああっ…はあんっ…ちゅっ…れろおっ…んんっ…」

ママ B「はあんっ…ど、どうしちゃったの…？も、もう何か爆発しちゃいそうなのかな…はあんっ…いいの…そのまま…開放しちゃっていいんだよ…んん～～っ…  
大丈夫…怖くなんて…ないんだからあ…はあんっ…んん～～っ…んはあっ…ちゅっ…ちゅっ…ジュルるっ…れろれろおっ…」

ママ A「んん～～っ…はあんっ…んちゅっ…レロレロおっ～～っ…じゅるるっ…んはあっ…はあんっ…れろれろおっ…んちゅっ…んはあ～～っ…おしっこするみたいに…おちんちんの先から…はあんっ…出てくるからあ…んん～～っ…ちゅっ…じゅるるっ…んはあっ…」

ママ B「あはんっ…ボ、ボクの初めての…射精…んん～～っ…はあっ…いいよ…ママの前で…いっぱい出して…んん～～っ…いいのっ…おちんちんから…いっぱい出してえ…んはあっ…はあっ…」

ママ A「んん～～っ…ちゅっ…はあっ…はあっ…ママも…イクのっ…はあんっ…んはあ～っ…はあんっ…んんん～～っ…はあっ…んちゅっ…んはあっ…ママ、オマンコ、いっちゃうのお…はあ…んはあっ…あはあ～んっ…」

ママ B「はあんっ…ママと一緒に…オナニーで…んはあ～んっ…精液い…んんっ…出して…んん～～っ…はあんっ…あああっ…んんっ…ママもイクっ…  
ママのオマンコ…いっちゃうのっ…んああっ…はあんっ…あああっ…んん～～っ…」

ママ A「んあぁっ…はぁぁっ…いくいくいくっ…んあっ…あぁぁっ…おまんこっ…おまんこっ…ママのオマンコっ…あぁぁっ…はぁっ…  
…いいのっ…おちんちんと一緒に…んんっ…いっちゃうのおっ…んんっ…」

ママ B「いいよっ…ボクのせ～えきい…出してえ…んんんっ…いっぱい出してえ…  
はぁ～～んっ…あはぁ～～～んっ…んはぁぁぁっ…！」

ママ A「いいのっ…ボクのせ～えきっ…はぁんっ…ちょうだいっ…いっぱい…んん～～っ…ほしいのお～んっ…んはぁっ…んん～～～  
っ！」

ママ B「うふふっ…いっぱい、出ちゃったね…これが…僕の赤ちゃんミルクなの…はぁっ…はぁっ…  
ボクも、ちょっと大人になっちゃったね…んん～～っ…ママが味見しちゃうかな…  
ちゅっ…んちゅっ…レロレロおっ…  
んん～～っ…美味しいな…ボクの味がするよ…んちゅっ…れろれろおっ…じゅるるっ…レロお～～んっ…」

ママ A「んはぁっ…はぁっ、はぁっ…んんんっ…はぁっ…んん～～～っ…おちんちんの周り…たっぷりの精液っ…んんっ…ママのオマン  
コも…べとべとおっ…んんっ…んじゅるっ…んはぁっ…んんっ～～っ…クンクンっ（鼻を鳴らす音）んはぁ～～っ…もう男の人のニオイ  
がする…んはぁ～～っ…  
はぁんっ…今度は…赤ちゃんミルクを…はぁんっ…ママのオマンコの中で…たっぷり出してね…んちゅっ…」